

APRIL

TEMPLE'S SCHEDULE

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
		1	2	3 10:00 Tai Chi 13:30 Buyo	4 19:00 Buyo	5 12:00 Shiga Kenjinkai Memorial Service
6 Shotsuki Memorial Service 10:30 Kids Sangha 10:45 Japanese 11:00 English Buyo Fundraiser	7 10:00 Karaoke	8	9	10 10:00 Tai Chi	11 19:00 Buyo	12 16:00 Hiroshima Kenjinkai
13 10:30 Kids Sangha 11:00 Eshin Ni Day 13:00 TBC AGM	14 10:00 Karaoke	15	16	17 10:00 Tai Chi Momiji Congregant Meeting	18 Office Closed	19
20 10:30 Kids Sangha 11:00 Hanamatsuri	21 10:00 Karaoke	22	23	24 JSBTC Meeting	25 JSBTC Meeting	26 JSBTC AGM
27 10:30 Kids Sangha 11:00 JSBTC 120th Anniversary and Tsuito Memorial	28 10:00 Karaoke	29 20:00 Minyo (Bon Odori)	30			



Buddhist Education Class

8 週間



仏教（浄土真宗）入門講座

対面とZoomの両方で開催
(5週目と8週目は対面推奨)

5月 毎週金曜日	2日 7:00PM - 8:00PM	Week 1 - お釈迦様の生涯
	9日 7:00PM - 8:00PM	Week 2 - 仏教の教え
	16日 7:00PM - 8:00PM	Week 3 - 仏教の教え
	23日 7:00PM - 8:00PM	Week 4 - 仏教の展開
	30日 6:00PM - 8:00PM	Week 5 - 親鸞聖人の生涯 (DVD視聴) ※開始時間変更
6月 毎週金曜日	6日 7:00PM - 8:00PM	Week 6 - 浄土真宗の教え
	13日 7:00PM - 8:00PM	Week 7 - 浄土真宗の教え
	20日 7:00PM - 8:00PM	Week 8 - 浄土真宗の儀礼

Fee: \$10~ for TBC members
\$15~ for Non-TBC members



Just off Sheppard West station!!

A Jodo Shinshu Temple

Toronto Buddhist Church

1011 Sheppard Avenue W.

Toronto, ON M3H 2T7

Contact information: Rev. Hashimoto

☎ 416-534-4302

✉ tbc@tbc.on.ca



事前登録はこちらから
(日本語専用です)

寄付としてお金を受け取ることはできません。日系カナダ人生存者健康福祉基金は生存者の方々の健康支援が目的です。寄付をお考えでしたら、他の団体への寄付をお願いいたします。

日系カナダ人生存者健康福祉基金協会は助成金の受給資格の一つである対象年齢を「生年月日が1949年4月1日以前であること」と設けたのですか？

1949年4月1日というのは恣意的に決められた日付ではありません。この日は日系カナダ人に完全な選挙権が与えられ、日系カナダ人の移動を規制するためのすべての法的制限がカナダ政府によって撤廃された日と定義されています。1988年のリドレスプログラムでもこの日付が使われ、JCSHWFSのプログラムの先例となりました。このため、日系カナダ人歴史遺産協会（JCLS）ではすべてのプログラムにおいて「1949年4月1日」という日付を使用しています。日系カナダ人生存者健康福祉基金協会もJCLSの6つの柱の1つとして、生存者の方々の健康支援を目的としたこちらの助成金の受給資格に同じ日付を適用しているため、対象年齢は「生年月日が1949年4月1日以前であること」となります。

BC州にルーツがあることを証明する書類等を提出できない場合はどうなりますか？

年齢による受給資格の確認とBC州へのルーツの確認を続けているため、十分な情報を提供する責任は生存者や代理人の方にあることを再度お伝えします。ルーツの確認は内部で行われ、確認の際に使われた書類等を共有することはできません。受給確認やルーツの確認は、助成金の交付において不正が行われないようにするために必要な手続きです。受給資格を満たさない場合は申請が却下されます。却下の通知は生存者または代理人の方に送られます。

申請が却下されました。異議を申し立てすることはできますか？

生存者の方が、独立した裁定委員会による審査をご希望の場合は、adjudication@jcwellness.org までご連絡ください。

小切手の再発行が必要です。再発行された小切手はいつ届きますか？

様々な理由（紛失・未着・住所変更・不備等）により小切手の再発行をお待ちいただいている生存者の方々がいらっしゃいます。小切手の再発行は2025年3月31日までに終わる予定です。長らくお待ちしてしまい大変申し訳ございません。

JCSHWFS チーム一同

お問い合わせは以下の連絡先までお願いいたします。

電話番号：250-797-6300

トールフリー番号（北米）：1-833-368-6462

メールアドレス：help@jcwellness.org

アウトリーチワーカーのリストはウェブサイトからご確認ください。 [JC Wellness Outreach Workers](#)



Japanese Canadian Survivors Health and Wellness Fund Society

March 2025 Newsletter

2025年3月 お知らせ

日系カナダ人生存者健康福祉基金協会の助成金プログラムのオンライン申請ポータルは2025年3月31日午後5時（太平洋標準時）までお申込みを受け付けています。この期日までに提出されたお申込みはすべて受理されます。残念ながら、このお申込み締切日を延長することはできません。助成金に関する詳細、受給資格、及びオンライン申請ポータルは <https://jcwellness.org/apply/> からご確認ください。

2024年2月のプログラム開始以来、アウトリーチワーカーチームの活動により、4531名の生存者の方と連絡を取り、7634件の助成金の手続きを行いました。プロジェクトが終わりに近づくにつれ、すでに退職したチームメンバーもいれば、3月中に退職するチームメンバーもいますが、JCSHWFS理事会は以下の元チームメンバーによるサポートと貢献に大変感謝しています。

ドナルド・ワタナベ、ホリー・サカキ、キャサリン・アリマ、エリサ・クニヒロ、エリカ・シン、マーク・ユエダ、ロジャー・テシマ、エリザベス・ミヤナガ、ユミ・ディエル

なお、他のアウトリーチワーカー (<https://jcwellness.org/outreachworkers/>) によるヘルプは引き続き受けいただけますのでご安心ください。

助成金を受け取られた生存者の方々から感謝のお言葉や助成金が役に立ったという嬉しいご報告をいただいています。他にもお問い合わせ等お送りいただきありがとうございます。よくある質問及びそれに対する回答は以下をご参照ください。

助成金1と2はカナダで課税対象となりますか？

課税対象にはなりません。助成金は課税対象にはならず、カナダ国税庁（CRA）に申告する必要はないと、協会の会計検査官が保証しています。

2024年分の確定申告書を JCSHWFS の方で作成していただけますか？

確定申告書の作成等は行っていないです。

日系カナダ人生存者健康福祉基金協会がほかの生存者の方に助成金を提供するために、私が受け取った助成金1と2の一部を協会に寄付することはできますか？

キャンプ・ルンビニ 2025

8歳から15歳のユースを募集しています！

この夏、7月27日（日）～8月2日（土） 仏教キャンプに参加しませんか？



若者の絆を深める楽しい体験！

1週間のアクティビティを通して仏教のテーマを実践。

ワサガ・ビーチのお寺のコテージで行われる仏教キャンプ。

16歳以上の青少年がカウンセラーとなり、ボランティア時間を受けることができます。

8月1日（金）には8歳未満のお子様も1日キャンプに参加できます。

詳細はアバゲイル・カタオカまで abagail-kataoka@hotmail.com

トロント本願寺ダーナ奨学金について

トロント本願寺ダーナ奨学金委員会は、資格のあるすべての学生に奨学金への応募を呼びかけています。

応募資格

初めて応募する学生で、カナダの浄土真宗寺院の東部地区にある寺院の会員、または会員の子や孫であり、大学、カレッジ、高等専門学校など、認定された教育機関の中等後教育の初年度に通う学生。

すべての応募は書面にて提出し、推薦状を添付すること。

奨学金の金額は、各年度末に利用可能な資金によって決定され、委員会の裁量に委ねられます。

学業成績	50%
寺院での活動	30%
学校および地域社会との関わり	10%
小論文（300字以上）	10%
合計	100%

奨学金の申請をご希望の方は、下記までご連絡ください。申込書はできるだけ早くお送りします。

tbc@tbc.on.ca or 416-534-4302

奨学金申請の締め切りは2025年4月30日（水）です。

祥月法要のお知らせ

祥月法要とは、祥月命日（故人が往生された月のご命日）をご縁として仏法に遇い、阿弥陀さまの仏徳を讃嘆し、報謝の思いでお勤めする法要です。

日時：四月六日（日）

（日本語：午前十時四十五分から）

（英語：午前十一時から）

場所：トロント本願寺

※英語法要のみオンラインでの配信
オンラインでの参拝を希望される方は、その旨を寺院事務所までお知らせください。
Zoom Link を送らせていただきます。
故人が祥月でない方もご参拝下さい。

※四月より日本語の時間が変更となります。

法要後には地下のソーシャルホールにてメンバー同士の交流を楽しんでいただければと思います。



初参式・敬老会のお知らせ

お子さまが誕生し、はじめてお寺にお参りする「初参式（しよさんしき）」は、人生の中でもとても大切な仏縁のひとつです。

「初参り」とも言われますが、浄土真宗では単なるお祝いではなく、阿弥陀さまのはたらきをいただく仏縁として受けとめます。

日時：五月四日（日）午前十一時から

また、敬老会は、長寿を迎えられた方々を敬い、感謝の心を込めてお祝いする集いです。

浄土真宗では、長生きそのものを「良いこと」「悪いこと」と単純には捉えません。

阿弥陀如来は、どんな人も、どんな年齢であつても、「そのままのあなたを救いたい」と願つてくださる仏さまです。

だからこそ、長寿を迎えた方々の歩みは、単なる「年数の積み重ね」ではなく、仏さまの願いに生かされ続けてきた尊い証でもあります。

日時：五月二十五日（日）午前十一時から

英語版のニュースレターに申込用紙がございます。申込期限が早くなっておりますのでお気を付けてください。

ボランティアの皆様へ

寺院内外に問わず、トロント本願寺の護持発展に対して、ご尽力くださるすべての方々に感謝を申し上げます。

合掌

枕経について

ご家族の枕経を検討されている場合は、事前に当寺院の事務所へご連絡いただくようお願いしております。

ご希望の時間を調整し、亡くなられる前であれば、一緒に臨終の仏徳讃嘆のお勤めを、亡くなられた後であれば、故人を偲びながら、ご家族の皆さんと仏徳讃嘆のお勤めをさせていただけます。

当寺院に事前にご連絡いただくことによつて、ご家族の質問への対応や必要な情報を提供することが可能となります。

枕経についての連絡、質問については、

（416） 534-4302

あるいは、<tbce@bc.on.ca> まじい 連絡いただくようお願いいたします。

留守の場合はメッセージを残していただき、担当者が折り返し対応させていただきます。

トロント本願寺 理事会

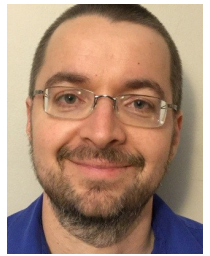
花まつり食事も延期のお知らせ

毎年恒例のサンガ主催の花まつり食事です。が、今年度は四月にトロント本願寺の年次総会とカナダ開教区の年次総会が予定されているため、来年まで延期となりました。

なお、花まつりの法要自体は二十日に行われますので、ぜひともご家族揃つてお参りいただければと思います。

トロント本願寺 サンガ グループ

春がやってきましたーおそらく、です。



この原稿を書いている今、外は雨が降っており、気温は十六度です。

先週はハミルトン仏教会で春のお彼岸法要が行われ、そして明日はトロント

でのお彼岸法要が勤まります。まさに「待ちに待った」といったところででしょうか。ウォータールーでは、本当に雪の多い冬でした。

鳥たちのさえずりが戻り、花が咲き始めるこの季節は、私にとっても心躍る時期です。外に出て歩きやすくなるのも嬉しいですね。

いま私は環境学の修士課程で学んでいます、それによって自然界が私たちに与えてくれている多くの恵みに、以前よりも敏感になってきたように思います。

環境科学の中に「生態系サービス (ecosystem services)」という考え方があります。これは、人間が自然から受け取っているさまざまな恩恵のことです。たとえば、木は私たちに食べ物や日陰、そして木材を与えてくれます。

木の根は水害や土壌の流出を防ぎ、また多くの生き物たちの棲みかとなっています。それぞれの生き物もまた、私たちにとって大切な役割を持っています。さらに森林は、私たちがキャンプをしたり、探検したりする素晴らしい場所でもあります。

このように多くの生態系サービスがある中で、科学者たちがあまり注目してこなかったもの

のがあります。

それは「精神的な生態系サービス (spiritual ecosystem services)」です。一覽には載っているのに、あまり研究の対象とはされてこなかったこの分野——しかし、私はむしろそれが最も大切なのではないかと感じています。

自然の中で過ごす時間は、私たちの心身に良い影響を与えるという研究結果があります。森の中を歩いたり、静かに座ったりした後、人はストレスや不安が和らぎ、頭の中がぐるぐると思い悩む思考からも解放されるといいます。

そのことが、血圧を下げたり、免疫力を高めたり、心臓の健康を保ったりと、さまざまな良い変化をもたらすそうです。

日本では一九八〇年代から「森林浴」という言葉が使われるようになり、木々の間を歩くことで癒しを得ようとする取り組みが進められました。このことを思うと、どうしても仏教の歩みに重ねてしまいます。

お釈迦さまは、母マヤーが一本の木の枝を握っているときにお生まれになりました。そして、その生涯をかけた仏への道は、菩提樹の下での深い瞑想の中で果たされました。法を説く場も多くが林の中であり、最期も二本の沙羅双樹の間で迎えられました。さらには、お釈迦さまが過去世において樹木として生まれたという説話も、ジャータカ物語には多く伝えられています。

もし、お釈迦さまが生きた時代の北インドが、

木々の伐採によって荒れ果てていたとしたら、はたして仏教は生まれていただろうか。お釈迦さまの歩みには、いつも木々の存在が寄り添っていたのではないかと。

そう思うとき、目覚めへの道は、やはり自然に囲まれた場所だからこそ開かれやすいのではないかと、ふと感じるのです。

現代の私たちはコンクリートと金属に囲まれた空間の中で暮らしています。もしかしたら、真に智慧と慈悲に満ちた人が少なくなつたのは、そうした自然から切り離された生き方に原因があるのかもしれない。

『阿弥陀経』などの浄土經典には、浄土の木々が美しい音楽を奏で、風が吹くたびにその枝葉から仏の教えが語られると説かれています。その法を聞いた菩薩たちは、皆ことごとく深い目覚めに至ると説かれています。

法蔵菩薩——後の阿弥陀如来——は、浄土の願いを立てられたとき、そこに木々がなければ悟りを成就しないとさえ誓われました。それほどに、木の存在は尊いものとして描かれています。春の訪れとともに、私たちは自然の中で過ごす時間が増えていくことでしょ。その折には、木々が私たちに与えてくれている数々の恵み——身体的なものだけでなく、心の奥深くに響く精神的な恩恵——を想い、「ありがとう」と報恩感謝の念を捧げてまいりましょう。

南無阿弥陀仏

アシスタントミニスター

ジェフ・ウィルソン先生 (橋本 日本語訳)

佛心

二〇二五年四月号

浄土真宗 本願寺派

トロント本願寺

杉浦輝先生の到着とカナダ開教区年次総会



夏時間が始まり、トロントでは日が長くなってまいりました。それに加えて、気温もマイナス十度から少しずつ上がり、今では零度近く。春の訪れが、肌を通して、心を通して、感じられるようになってきました。

三月二十五日、杉浦輝先生がトロントに到着されました。四月一日より、トロント本願寺にて私と共に奉職していただきます。

杉浦先生の住まいのために家具や食器などを寄附してくださった皆さま、また準備をお手伝いくださった皆さまに、心より御礼申し上げます。そのお心遣いにご支援、本当にありがとうございます。

杉浦先生は二十七歳で、私よりも二歳年下です。今回が、海外での初めての生活となります。私と同じく、京都の龍谷大学大学院にて「実践真宗学研究科修士課程」を修了されました。本願寺派においては、布教使としての資格に加え、作法や声明（お勤め）に関しても専門的な修練を積まれております。

日本のご実家のお寺のご都合により、日本に帰らなくてはならない事情がありますが、これから二、三年の間、トロント本願寺にてアシス

タント・ミニスターとして我々と共に念仏の道を歩んでくださいます。

杉浦先生は、毎月の祥月法要にて日本語のご法話を、そして日曜礼拝では月に一、二回、英語のご法話をお話しくださる予定です。

初めての海外生活ということで、文化や習慣の違いに戸惑われることもあるかもしれませんが、どうぞ温かく迎えくださり、お力添えを賜れましたら幸いです。杉浦先生がこのトロントの地で、どのように念仏の道を歩まれるのか、私もとても楽しみにしております。

そして、私自身もこの四月でトロント本願寺での二年目を迎えます。こうして新たに念仏の仲間をお迎えできたことに、大きな励ましをいただいております。そして何よりも、皆さまお一人おひとりと共に、この念仏の道を歩んでいけることが、私にとって何よりの喜びであり、支えです。

ジェフ・ウィルソン先生（アシスタント・ミニスター）、デニス・マドコロ氏（ミニスター・アシスタント）、そして何より、皆さまお一人おひとりと共に、「念仏の声が世界で一番響くお寺」としてのトロント本願寺を、これからも目指してまいりたいと願っております。

さて、四月二十四日から二十七日まで、トロント本願寺にて浄土真宗本願寺派カナダ開教区の年次総会（Annual General Meeting）が開催されます。全国から開教使、理事の皆さま、婦人会の代表の方々が集まり、これからのカナダ開教区のあり方について話し合われます。

一年前、私がカムループスにて勉強していた頃、ステイブ・ブストンで行われた年次総会にオブザーバーとして参加させていただいたことがあります。

その時の温かく、心ひらかれた雰囲気、深く感動し、それが、トロント本願寺での研修のお声がけをいただいた際にすぐにお受けした理由の一つでもありました。

四月二十六日（土）午後二時から、総会後にカナダ開教区創立百二十周年を記念した特別プレゼンテーションがあり、カナダ各地のお寺から十分〜十五分ずつの発表が予定されています。そして、翌日曜日の午前十一時から、「カナダ開教区百二十周年記念・追悼法要」が執り行われます。

今年は、トロント本願寺にとっても節目の年です。創立八十周年、現在の場所に移転してから二十周年、そしてカナダ開教区の百二十周年という、三つのご縁が重なる一年です。この大切な節目を、ぜひ皆さまと共に祝いし、味わい合いたいと願っております。

南無阿弥陀仏

トロント本願寺 駐在開教使 橋本 顕正

